

CASBEE-建築(新築)2014年版
 鴻池運輸株式会社 京都城陽配送センター増築計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階	配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
				評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
1.2 遮音								
1			開口部遮音性能	-	-	3.0	-	
2			界壁遮音性能	-	-	3.0	-	
3			界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	3.0	-	
4			界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音						3.0	-	
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
1			室温	-	-	3.0	-	
2			外皮性能	-	-	3.0	-	
3			ゾーン別制御性	-	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	-	
2.3 空調方式						3.0	-	
3 光・視環境								
3.1 屋光利用								
1			屋光率	-	-	3.0	-	
2			方位別開口	-	-	3.0	-	
3			屋光利用設備	-	-	3.0	-	
3.2 グレア対策								
1			屋光制御	-	-	3.0	-	
3.3 照度						3.0	-	
3.4 照明制御						3.0	-	
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1			化学汚染物質	-	-	3.0	-	
2			アスベスト対策	-	-	-	-	
4.2 換気								
1			換気量	-	-	3.0	-	
2			自然換気性能	-	-	3.0	-	
3			取り入れ外気への配慮	-	-	3.0	-	
4.3 運用管理								
1			CO ₂ の監視	-	-	-	-	
2			喫煙の制御	-	-	-	-	
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1			広さ・収納性	-	-	3.0	-	
2			高度情報通信設備対応	-	-	3.0	-	
3			バリアフリー計画	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性								
1			広さ感・景観	-	-	3.0	-	
2			リフレッシュスペース	-	-	-	-	
3			内装計画	-	-	-	-	
1.3 維持管理								
1			維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	
2			維持管理用機能の確保	-	-	-	-	
3			衛生管理業務	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震								
1			耐震性	2.9	0.50	-	-	2.9
2			免震・制振性能	3.0	0.50	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数								
1			躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-	
2			外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20	-	-	
3			主要内装仕上げ材の更新必要間隔	5.0	0.20	-	-	
4			空調換気ダクトの更新必要間隔	5.0	0.10	-	-	
5			空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.10	-	-	
6			主要設備機器の更新必要間隔	-	0.20	-	-	
				3.0	0.20	-	-	

角波カラー銅板 t=0.5
 石膏ボード t12.5 素地

2.4 信頼性			2.7	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.25	-	-	-
2	給排水・衛生設備		-	-	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.25	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.25	-	-	-
5	通信・情報設備		2.0	0.25	-	-	-
3 対応性・更新性			4.0	0.50	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	-
1	階高のゆとり	最低階高=5.95m	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=(414.8+178)/5034.74=0.11774	4.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり		21,000N/m ²	5.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	-
2	給排水管の更新性		-	-	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.17	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.17	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.33	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.33	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) -	5.0	0.63	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		省エネ法に基づく算定	5.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		カラー鉄板+石膏ボード+胴縁+鉄骨躯体。躯体表し。	5.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない。	5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00	-	-	-
3 冷媒			-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		燃焼機器なし。	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止		大気汚染防止法に規制される施設なし。	5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制		40ftトレーラ等が待機可能スペースを敷地内に設けている。	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-